

## 25 東大沼緑地環境保全地域



### 1 地域指定

- (1) 指定地域 新宮神社周辺一帯（東村）
- (2) 指 定 昭和58年3月31日（茨城県告示第589号）

### 2 保全計画の概要

#### (1) 指定理由

本地域は、スダジイ、ヤブツバキ、タブノキの生育する常緑樹林である。

この常緑樹林の下に、南方系の大型蝶、モンキアゲハ、関東地方以西に分布域を持つムラサキシジミが数多く生息する等、集落内にあって、これらの良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

#### (2) 自然環境の概要

##### ア 植 生

スダジイを優占種とし、ヤブツバキ、タブノキ、モチノキの大径木が生育する常緑樹林である。林内には、スダジイ、モチノキ、ヤブツバキ、シラカシ、シロダモ、タブノキが見られ、その下に上層木の稚樹のほか、ビナンカズラ、キバナアキギリ等が豊富に生育している。

このうち、ビナンカズラは、関東地方以西に分布するつる性の常緑樹である。

##### イ 野生動物

常緑樹林を好むモンキアゲハ、アオスジアゲハ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミのほか、周辺にはナミアゲハ、オナガアゲハ、クロアゲハ、カラスアゲハ等のアゲハチョウ類、ミドリシジミ、ルリシジミ等のシジミチョウ類、イチモンジチョウ、コムスジ、ルリタテハ等のタテハチョウ類が数多く生息している。

このうち、ムラサキシジミ、ウラギンシジミは関東地方以西に分布し、モンキアゲハは南方系の種で、ともに個体数の少ないのが通常である。

また、キイトトンボ、アジアイトトンボ、ナツアカネ、アキアカネ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られる。

さらに、ヒヨドリ、モズ、ムクドリ、カワラヒワのほかに、冬鳥のジョウビタキ、ツグミも多数確認されている。

### (3) 区域

#### ア 区域の概要

本地域は、東村北西部に位置する東大沼集落地内の新宮神社を中心とするまとまった森林地域である。

#### イ 位置及び区域

稲敷郡東村大字東大沼の一部  
別図のとおり

#### ウ 面積 1.40ヘクタール

#### エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	1.40	1.40

(面積は、台帳面積による。)

### (4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、新宮神社地内で、スダジイ、ヤブツバキ、タブノキの生育する常緑樹林である。

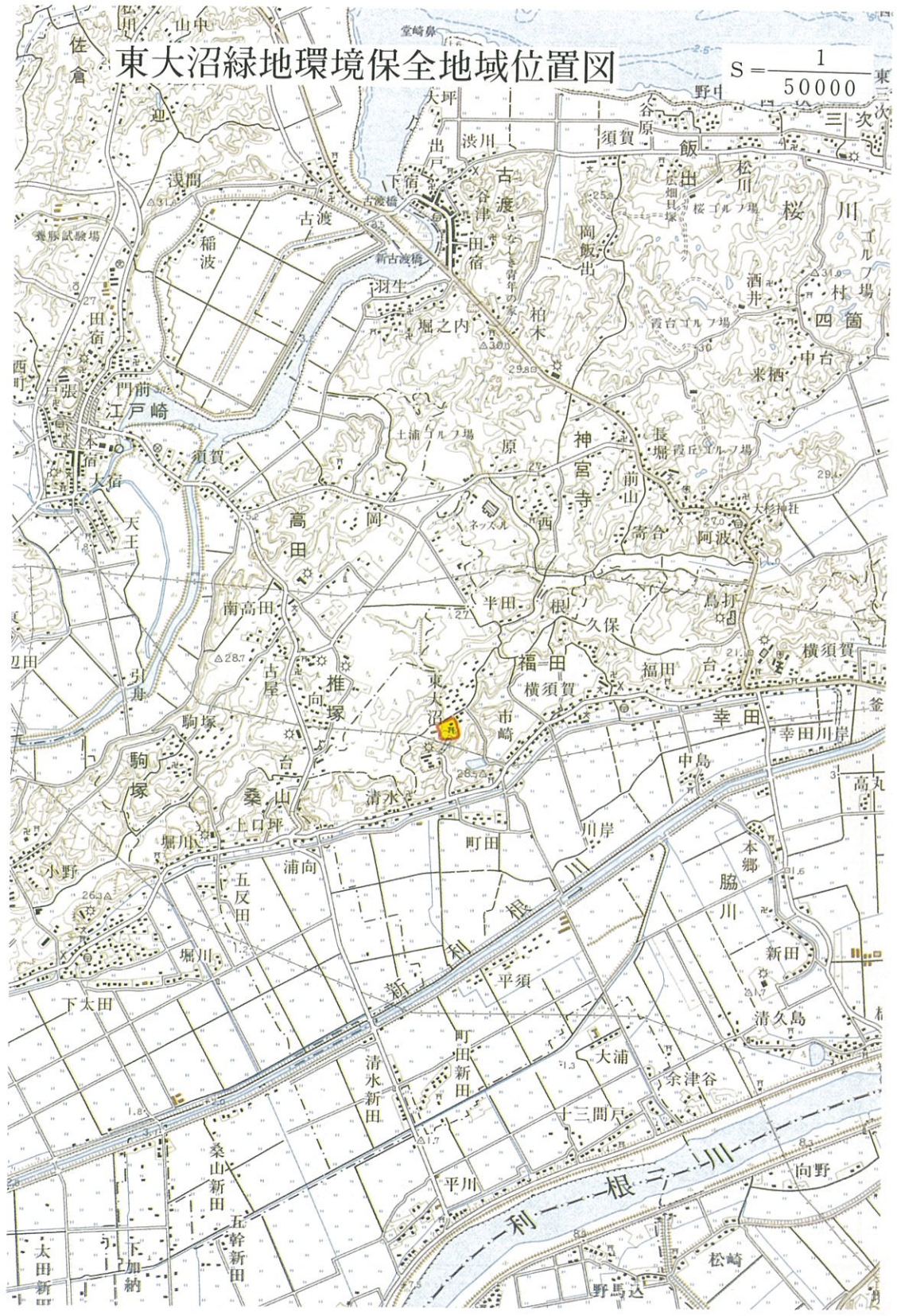
この暖帯性常緑樹林の下に、南方系の大型蝶、モンキアゲハ、関東地方以西に分布するムラサキシジミ、ウラギンシジミ等希少性を有する種が生育するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規則は、条例の定めにより行う。

### (5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

# 東大沼緑地環境保全地域位置図

S =  $\frac{1}{50000}$  東三



# 東大沼緑地環境保全地域区域図

S =  $\frac{1}{5000}$

